

お亀田地区公民館運営審議会概要

亀田地区公民館

実施年月日	第5期 第2回運営審議会	平成27年12月8日(火)
会場	江南区文化会館 講座室1	傍聴人 0人
出席者	委員	遠藤由美, 石田正文, 大沢美子, 石澤正明, 山倉茂美, 小見直樹, 坂上貴子, 塚田美智子, 横木春三, 田村智江
	事務局 亀田地区公民館	鶴巻和仁館長, 辻 崇主任
	曾野木地区公民館	樋口栄子館長, 宮川浩一主査, 渡辺康主査
	横越地区公民館	池田忠館長, 服部尚人主査
おもな議題	(1) 平成27年度新潟市公民館事業実施状況について (2) 平成28年度新潟市公民館事業の基本方針について (3) その他	
審議内容 平成27年度新潟市公民館事業実施について, 各公民館から報告をもらい, それに関する質疑応答, 平成28年度の公民館基本方針について, 鶴巻館長から説明をしてもらった。		
(1) 平成27年度江南区公民館事業の実施状況について		
事務局	(事業実施状況説明要旨) 資料に基づき各公民館担当より平成27年度事業実施状況について報告を行いました。 亀田地区公民館 曾野木地区公民館 横越地区公民館	

<p>横木委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>実施状況報告書に回数，延べ参加者数が出ているが，募集している人数，目標に達しているのかどうか。来年度に向けた考え方などを聞きたい。</p>
<p>鶴巻館長</p> <p>樋口館長</p> <p>池田館長</p>	<p>(質問・意見を受けての回答)</p> <p>家庭教育学級が公民館事業の中ではメインとなっていて毎回，定員をほぼ超えている。事業によっては人数調整することもあり調整しながら，他館にご案内することもあった。他の事業についても参加者は多い。</p> <p>子ども体験事業については，夏休みにやることで，学校の事業とぶつかったりすることもあり，来年度は学校との連絡調整が必要。また，今年参加した子ども達の意見も聞きながら，来年度開催の時期，内容も検討したいと思っています。</p> <p>(質問・意見を受けての回答)</p> <p>曾野木地区公民館について，家庭教育事業は定員を超えたが，全員参加できるように講座を運営した。子どもの講座についても定員を超えても全員参加できるようにした。</p> <p>地域学の講座は，公開講座も開き，こちらは80人を超えた。</p> <p>お見合い講座は自主グループになって，活動している。</p> <p>総踊り体操を体験した人達も，自主グループになりそうである。健康体操としても使える。</p> <p>今年度やった事業は，ほとんど定員を満たしているものとなりました。</p> <p>(質問・意見を受けての回答)</p> <p>横越地区公民館では，子ども対象事業，申し込みは定員超えたものもすべて，受け入れた。</p> <p>家庭教育事業で保育付きの事業については，定員を定めるため，お断りしているものもある。</p>
<p>山倉委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>丸山小学校のふれあいスクールの運営をしているが，来年度は公民館と一緒にやりたいと思っている。一緒に考えながらやっていくことは可能でしょうか？</p>

<p>鶴巻館長</p>	<p>(質問・意見を受けて回答)</p> <p>問題ないと思います。公民館にご連絡いただければ、協力できることはしたいと思います。</p>
<p>山倉委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>わかりました。相談して話をします。</p>
<p>曾野木 渡辺</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>曾野木では「じぶん弁当」という事業は両川のふれあいスクールと公民館が一緒になって行う予定となっている事業です。</p>
<p>小見委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>今回初めての参加です。PTAの関連で、委員になっております。先ほど評価という話を聞いたのですが、事業の評価について聞きたい。何人参加されたのか(アウトプット)事業の目的は達成されているのか(アウトカム)そこら辺を聞きたい。実施効果をどのように評価をされているのか質問したい。</p>
<p>鶴巻館長</p>	<p>(質問・意見をうけての回答)</p> <p>全体としては事業評価シートというものを使って年度末に事業の成果、来年度の事業実施の必要性を評価している。</p> <p>前回のときにも資料として提出しています。</p> <p>内容としては、参加人数、評価をして、継続をした方がよいのか、参加状況も踏まえて来年度どうするか考えていくようになっています。</p> <p>評価の観点は、必要性、有効性、効率性を論点として判断するようになっています。</p> <p>市の教育ビジョンや基本計画に沿っているものかどうか判断しながら、評価をするようになっています。</p> <p>受講者の気づきや満足度などもアンケートをもらいながら、事業の評価、必要性の目安になっています。</p>
<p>小見委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>もう一点聞かせて下さい。</p> <p>事業の企画、参加しやすさを工夫してほしい。例えば、ここを利用するに当たって、きやすい方策を工夫していただきたいと思います。江南区文化会館は中高生は車で来れないので、工夫していただければいい評価ができるのではないかと？</p>

<p>鶴巻館長</p>	<p>(質問・意見を受けて回答)</p> <p>学習室については、通年通して気軽に来れないところではあるが、時期によっては、利用者が増えています。図書館で学習しているが、そこが満杯になると、臨時に公民館の空き状況を確認して部屋を開放することはあります。4月から区役所の脇に福祉センターも近くにでき中学校の近い位置にありますので通っている声を最近よく聞いている。</p> <p>こちらは複合施設で公民館、郷土資料館、図書館がありますので連携しながら何かできることがあれば考えていきたい。</p>
<p>田村委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>掲載されている全ての事業に予算が付いているのか聞きたい。</p>
<p>鶴巻館長</p>	<p>(質問・意見を受けて回答)</p> <p>全てについているわけではありません。</p>
<p>田村委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>ひとつの事業についてどのくらいの予算がついているのか審議委員会にて明確にしてもらいたい。</p> <p>わたしは、大江山地区に住んでいるが、両川地区もそうだと思いますが、大江山地域には公民館事業が少ない。もっと事業を行ってほしいと思っています。大江山地区は公民館があることも地域の住民はほとんど知りません。今回ありがたい事にアクティブシニアとサポート事業をもって頂きありがたいと思っております。いい講座でしたが、広報が遅かったためそのため情報が伝わっていなかった。人集めを活動協力員からも協力してもらいながら参加者を増やす方策をお願いします。</p> <p>そのために、公民館事業の早めの企画・運営、早めの広報をお願いしたいと思います。</p> <p>提言として、いくつかお願いをしたいと思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 他地区への営業もするような積極性が必要ではないか。 2 市民参画の事業をお願いします。 <p>市民と一緒にやっていく姿勢がほしい。予算、人員削減の中、市民と共同していかなければ公民館はやって行けない。</p> <p>無償の企画運営に携わってくれる人の協力をもっと活用してほしい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 講座の組み方 <p>連続講座とはしても、最初から講座全て出席できなければダメとするのではなく、各講座、出たいところだけでも参加できる工夫をお願いしたい。活動協力員からも企画運営にもっと携わってもらいたい。</p>

	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営審議会の報酬高すぎる。その辺の予算の使い方を考えてみてはどうかと感じている。 ・ ボランティアを取り込んでいく必要がある。 ・ 地区の連携事業を取り組んではどうか。 ・ 横越でコミュニティコーディネーター育成事業を実施予定とのことだが、私も含め亀田地区で昨年まで3年間やってきたコミュニティコーディネーターも改めて勉強したいので、参加できるようにお願いしたい。
<p>鶴巻館長</p>	<p>(委員からの質問をうけて回答)</p> <p>田村委員から提案を受けたことについて回答いたします。</p> <p>1 について</p> <p>周知，募集する期間，事業によってまちまちですが，タイミングを図ってやっていきたい。</p> <p>2 について</p> <p>興味，関心のあること，企画委員を募って，広く意見を聞いていきたい。</p> <p>3 講座の組み方については参考とさせていただきます。</p> <p>活動協力員の方の協力をお願いしたい事はたくさんあります。今年も子ども郊外学習や体験学習などの事業などで，ご協力していただいております。子ども事業だけでなく他の事業についても信頼関係を築きながらこれからもお願いしたいと思っております。</p>
<p>石田委員</p>	<p>初めて参加させていただきました。</p> <p>事業一覧を見せていただいて参加人数を見ると，多くの方が人と人のつながりを求めているものに参加されていると感じた。</p> <p>江南区は人口があまり減らず，比較的平行に推移している。各地域で若い世代が増えており，そうしたことも含めた事業ができるのではないかと思います。</p> <p>予算はどれだけの予算が使われたのか，どのように執行されたのか，ガラス張りにわかるようにしてほしい。</p> <p>使わないのはもったいない。市民から見ると，100パーセント使ってほしい。学校では必ず使い切っています。</p> <p>参加費無という事業もありますが，私も習い事をしているが，必ず参加費はとられます。公民館事業でも参加費はとっても良いのではないかと。学校の事業でも実費をもらっている。</p>

樋口館長	<p>予算のことですが、公民館事業は参加費はすべて無料で実施しています。参加費は実費（材料費）のみ。余れば、お返りする。少なければ、参加者の了解をもらって、募金などに充てています。</p>
遠藤委員	<p>（委員からの質問・意見）</p> <p>いつも江南区文化会館の学習室で中学生がお世話になっている。ただ、これからは中学生がお世話になるばかりでなく、何か地域の人や公民館の人と一緒にというのが課題になっている。例えば、防災で何ができるのか？地域で何ができるのか？また、中学生として何ができるのか？地域の人と一緒に考えられるような場がほしい。今後、公民館なりに何か考えていってほしいと思います。</p> <p>特別支援教育ということで学校の方は教育委員会の指導もあり、現場としては配慮があたり前という中で地域では理解がなかなか進んでいないのが現実。</p> <p>地域で特別支援を要するお子さんは理解を得られず苦しい思いをしている方もいます。</p> <p>理解をすすめる教育委員会と一緒に公民館も目を向けてほしい。学校と地域と一緒にやれる事につながるのではないかと思います。</p>
田村委員	<p>（委員からの質問・意見）</p> <p>防災教育は市も力を入れている。中学校とコミ協で防災訓練があった中で中学生がすごく活躍していた。実際に防災があったときも中学生が頼りになっている事例もある。こういった事業に力を入れていきたいが、いまだに理解できない事業もある。（折り紙講座、水引講座）</p> <p>今後、地域の活性化になるものや何が子どもにとって大切か考えて学・社・民連携して、公民館としてふさわしい事業を考えていただきたい。</p>
樋口館長	<p>（質問・意見を受けての回答）</p> <p>折り紙の講座について、折り紙は奥が深く一回ではなかなか折れない。曾野木は地域にたくさんサロンがあり、サロンを支えている人達が、折り紙講座を受け地域で指導者として活躍しておりサークルとして活動している。</p>
池田館長	<p>（質問・意見を受けての回答）</p> <p>昔の公民館は職員が企画して市民の声を聴かなかったが、今は市民の意見を聴かなければ講座はできない状態。公民館では企画委員形式で講座をやっている。企画委員募集はないが、前年度参加してもらった人に次年度の講座の企画をしてもらっている。市民の声が入っていない講座</p>

	は一切今はない。
靄巻館長	(質問・意見を受けての回答) 企画委員で企画は出ないときは、例えば文化展などに来館してくる人たちの会話で聞こえてくる声などもヒントにしながら常にアンテナ張っている。個人の意見ではなくそういった声も参考に考えている。
田村委員	(議員からの質問・意見) 今後は協力も委員大いに活用してほしい。 関わっていくと苦勞もわかるので企画会議にも出席してほしい。
靄巻館長	(質問・意見を受けての回答) はい。わかりました。ありがとうございます。
(2) 平成28年度新潟市公民館事業の基本方針について	
靄巻館長	来年度は基本的には今年度の基本方針と同じですが、新しい年度に向けて修正が少し加わっております。 内容的には表現を「です」「ます」で統一いたしました。 3, 重点的に取組む分野につきましては、今回から重点的に取組む事業から「分野」とさせていただきます。事業とは個別の事業となるため、事業委員会で意見いただいた中で修正させていただきました。 この方針にのっとり、各館で取り組んでいき先ほどの問題点、意見を踏まえながら事業を計画、実施していきたいと思っております。
横木委員	(委員からの質問・意見) 事業実施と評価ですが、昨年の事業評価は資料に入っておりますが、全部の事業の評価はでないのですか？
池田館長	(質問・意見を受けての回答) 館としてすべての事業をまとめた評価だけになります。
横木委員	(委員からの質問・意見) 個別に評価があればこを意見もあり反省点もあると思いますが、館の評価だけでは私たちは解り得ない事もある。 館の評価は誰がするのですか？

<p>靄巻館長</p>	<p>(質問・意見を受けての回答)</p> <p>基本方針の重点的に取組む分野ごとの評価はあります。他には個別に事業のシートがありそこで担当の評価をします。それが複数枚ありそれを、ひとつの分野にして担当と話し合い事業拡大したり廃止したりしますが、最終的な内容や成果を判断し評価は館長がする形になります。実績報告で個別の事業評価を簡略しても今後はお示しできればと思います。</p>
<p>遠藤委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>基本方針で生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備とありますが、基盤整備はどういうイメージで何を基盤としているのですか？</p>
<p>靄巻館長</p>	<p>(質問・意見を受けての回答)</p> <p>新潟市の「教育ビジョン」に引用しているかとおもいますが、制作に関わった者に確認して後でお知らせさせていただきます。</p>
<p>田村委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>私は22年度に公民館が宣言した「地域に出かけ、住民と一緒に考え、地域の絆づくりを支援する公民館」という<u>地域と一緒に</u>という文面が公民館の基礎をなしてるものだと私は捉えています。 ぜひ出かけて行ってください！</p>
<p>小見委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>活動拠点とづくりと職員の向上などをhardな面とsoftな面とを組み合わせることでしっかりとした土台を作っていきましょうという仕組み そういう意味で基盤整備といってるはずですよ。</p>
<p>田村委員</p>	<p>(委員からの質問・意見)</p> <p>そのように思いますが、基盤整備として学校が求められているのか具体的なあり方などあるとありがたいです。</p>
<p>靄巻館長</p>	<p>確認しておきます。</p>

(3) その他

靄巻館長より、今年度の公開講座上越教育大学の赤坂真二先生。内容は「子供のやる気を引き出す」公演の案内と今週末に予定されている演劇「ステハナ」のチラシ等の送付をして事業の紹介をしていきたい旨の話をさせていただきました。